

EasyBlocks

Webフィルタリング向け Proxyモデル ユーザーズガイド



本紙対象型番：EBX3/FILTER, EBAX/FILTER

Ver2.0.0

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ・ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

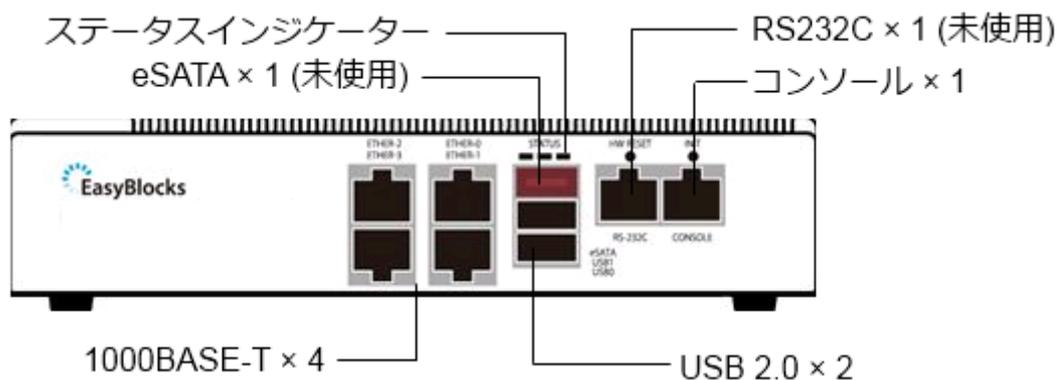
第1章 はじめに	4
1-1. 各部の名称	4
1-2. INIT スイッチの操作	6
1-3. 出荷時設定情報	7
1-4. i-FILTER のための通信ポート	7
第2章 設置・初期設定	8
2-1. 設定に必要な情報の確認	8
必須項目	8
2-2. 設置方法	9
2-2. 管理インタフェースへの接続	9
2-3. 初期設定	10
第3章 管理インタフェース	14
3-1. システム	15
3-2. ネットワーク	17
3-3. メンテナンス	19
3-4. Proxy サービスの設定	21

第1章 はじめに

1-1. 各部の名称

型番：EBX3/FILTER

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



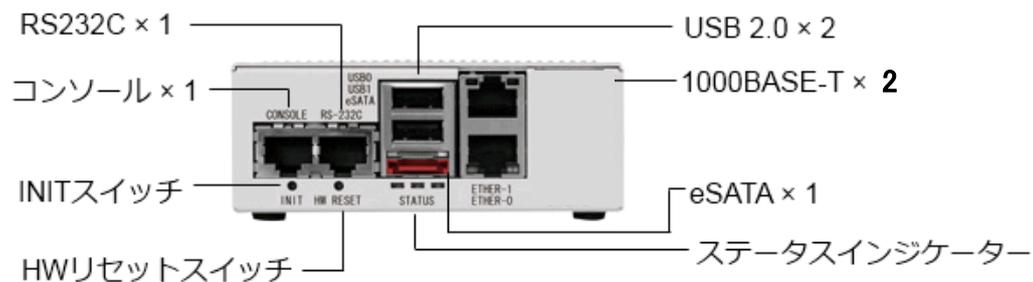
ケーブルクランプの取り付け

AC-IN 下の穴に添付のクランプを差し込みます

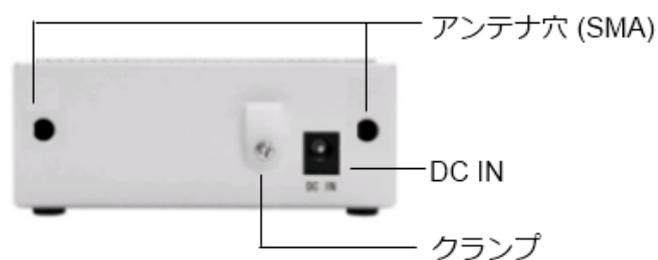


型番：EBAX/FILTER

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



◆ ステータスインジケータの点灯について (共通)

停止中：

全て消灯しています

稼働中：

黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、上下に点灯・消灯を繰り返します
負荷が高くなるにつれて、3段階で速度が変化します

停止後(シャットダウン処理後)：

黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

1-2. INIT スイッチの操作

INIT スイッチの操作により、初期設定状態での起動、停止・再起動の実行が可能です。

初期設定状態での起動

本体 INIT スイッチを押しながら(5 秒程度)電源 ON する

起動時からの再起動

INIT スイッチを 0~4 秒間(2 秒までは黄色点灯、4 秒までは緑色点灯となります)
押し続けた後に、スイッチを解放すると再起動処理が開始されます。

起動時からの停止

INIT スイッチを 5 秒以上(赤色点灯となります)押し続けた後に、スイッチを解放すると停止処理が開始されます。停止完了後は、LED 全色が同時に点滅します。

1-3. 出荷時設定情報

■ IP アドレス

		EBX3/FILTER	EBAX/FILTER
Ether-0	IP アドレス :	192.168.254.254	192.168.254.254
	ネットマスク :	255.255.255.0	255.255.255.0
Ether-1	IP アドレス :	未設定	未設定
	ネットマスク :	未設定	未設定
Ether-2	IP アドレス :	未設定	I/F なし
	ネットマスク :	未設定	
Ether-3	IP アドレス :	未設定	
	ネットマスク :	未設定	

■ WEB I/F のアドレス

Ether-0 : http://192.168.254.254:880/

■ WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

1-4. i-FILTER のための通信ポート

i-FILTER による URL のカテゴリ判定を行うために、デジタルアーツ社データセンターにある接続を行います。設置にあたっては、予めルーター等で以下通信ポートを許可して下さい。

アクティベーション :	TCP 443
URL 評価 :	TCP 80

第 2 章 設置・初期設定

2-1. 設定に必要な情報の確認

必須項目

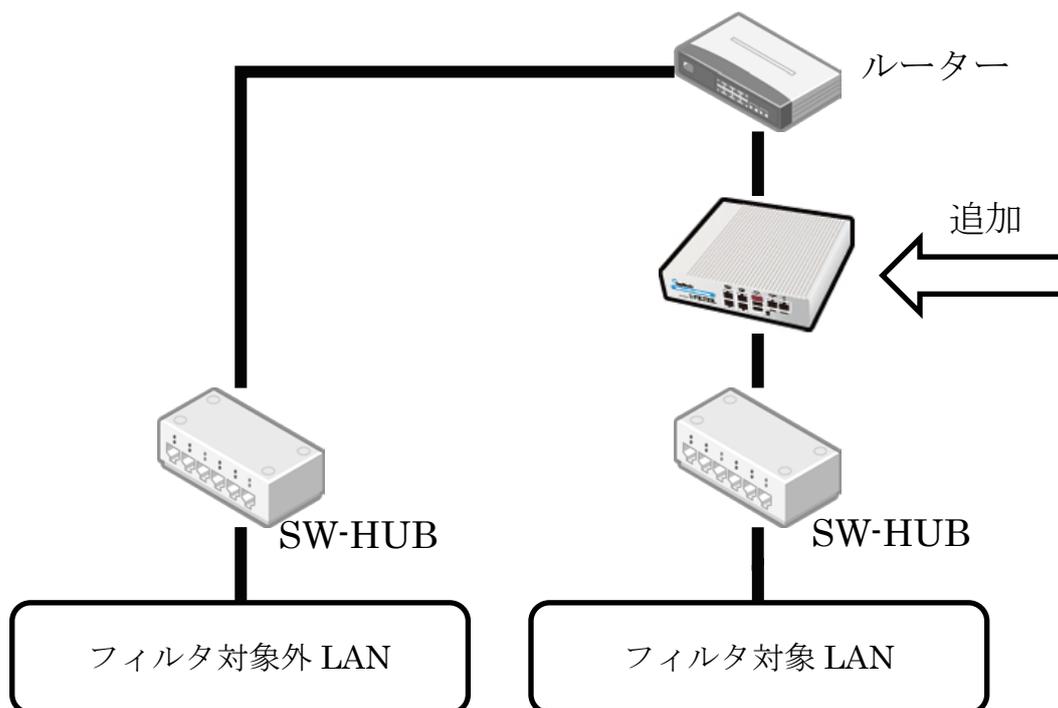
- ・ ネットワーク
 - 設置構成 (Proxy 型または Bridge 型)
 - Ether-0 の IP アドレス/ネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
 - DNS サーバー
- ・ Proxy サービス
 - ポート番号
 - 管理者メールアドレス
 - FTP 接続用パスワード(管理者メールアドレスと同じでも良い)
 - フィルタルール

任意項目

- ・ システム
 - NTP サーバー
- ・ ネットワーク
 - Ether- 1 /2/3 の IP アドレス/ネットマスク
 - 静的ルーティング
- ・ Proxy サービス
 - 上位 Proxy の IP アドレス及びポート番号(必要な場合は ICP ポート番号も)
 - ログを転送する場合の Syslog サーバー及びファシリティ(LOCAL0~7)
 - アクセス制限
 - ブロック時の表示メッセージ

2-2. 設置方法

以下の図は、既存 LAN への本製品の追加例を図に表したものです。本製品の 2 つのネットワークポートを活用し、一方をルーター、もう一方をフィルタ対象 LAN に接続します。このような形態を取ることで、全ての通信が本製品を通ることになり、フィルタリングとキャッシュが最大限活かされます。



図： 既存 LAN への追加例

2-2. 管理インターフェースへの接続

初期設定は、設定用 PC との 1 対 1 のクロスケーブル接続を推奨します。1-2. 出荷時設定情報に記載の IP アドレスに合わせて、設定用 PC の IP アドレスを重複のないように変更して下さい(192.168.254.10 や 11 等、0/254/255 以外)。その後、次の URL を開くことで、設定を開始できます。

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

2-3. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

サポートデスク

アカウント

上位Proxy

IPアドレス:ポート:ICPポート

操作

ユーザー名 :	管理インタフェースへのログインに使用します。 アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます。
パスワード :	同用途のパスワードです。
パスワード(確認) :	打鍵間違いを防ぐための再入力です。
サポートデスク :	サポートデスク加入者に発行されるアカウント アップデータは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可
上位 Proxy :	転送先の上位 Proxy がある場合に入力します

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本 ルーティング

ホスト名 (*) @bproxy

ドメイン名 (*) example.org

デフォルトゲートウェイ (*)

DNSサーバー1

DNSサーバー2

DNSサーバー3

サービスネットワーク (Ether-0)

IPアドレス (192.168.254.24)

サービスネットワーク (Ether-1)

使用する はい いいえ



ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス 「使用する」を「はい」と選択することで表示 Ether-2 および 3 の項目もあります

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。
リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。設定を保存しました

設定を反映するには、再起動が必要です。

基本 ルーティング





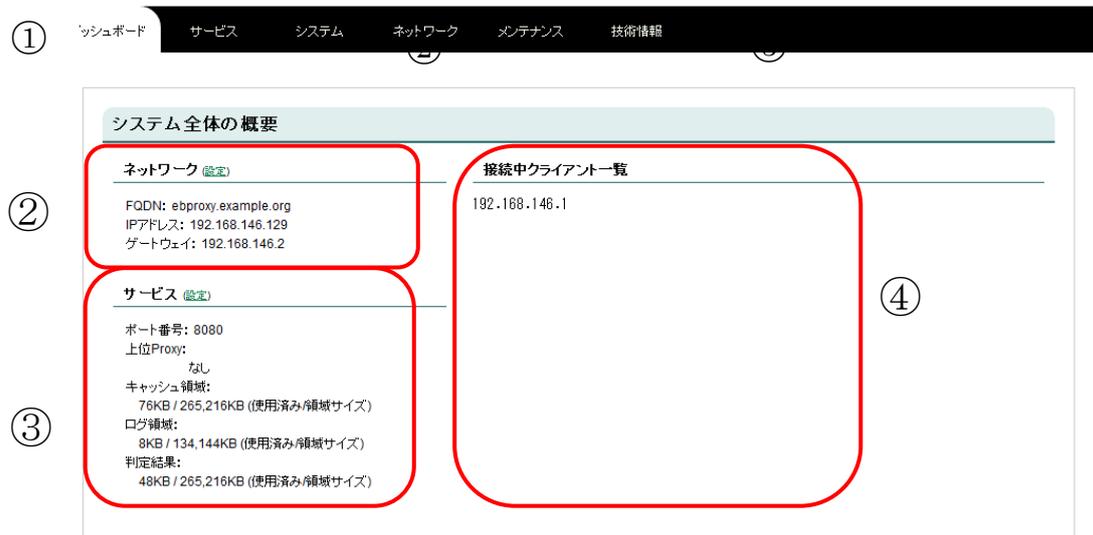
再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

再起動が完了すると、ログイン画面に移動します。
以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

第3章 管理インタフェース

管理インタフェースの基本的な画面構造について解説します。

■ ダッシュボード



① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：Proxy サービスの設定

システム：NTP や管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：ネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

② ネットワークの設定を表示

③ Proxy サービスの設定を表示

④ 接続中のクライアント IP を表示

3-1. システム

■ 基本

時刻設定 (?)

PCと時刻を同期 (?) 2012/02/27 15:22:06 同期

ntpサーバー1 (?) オプション (prefer maxpoll 10) (?)

ntpサーバー2 オプション

ntpサーバー3 オプション

操作

保存

◆時刻設定

PC と時刻を同期：	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます。
NTP サーバー：	NTP サーバーのアドレスを設定します。

※NTP サーバーによる時刻同期を行う場合は、予め PC と時刻を同期させ誤差を 15 分以内に収めて下さい。

■ 詳細

リポジトリ情報 (?)

サポートデスクアカウント (?) アカウント: xxxxxxxxxxxx パスワード: (*****)

操作

保存

◆リポジトリ情報

サポートデスクアカウント：	アップデートのダウンロードの歳に必要となります。
---------------	--------------------------

■ WEB 管理者



追加・変更

ユーザー名

パスワード

権限 全体 参照のみ

操作

一覧

ユーザー名	権限	操作
admin	全体	編集 / 削除

ユーザー名 :	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです。
パスワード :	同上
権限 :	すべての設定変更が可能な「全権」、参照のみ可能な「参照のみ」があります。

■ マイページ



登録情報の編集

ユーザー名

パスワード

操作

ユーザー名 :	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません。
パスワード :	変更する場合のみ入力して下さい。

3-2. ネットワーク

■ 基本

ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
設置構成 :	Proxy 型 又は Bridge(透過)型 を選択します。
Proxy 型	
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Bridge(透過)型	
Bridge IP アドレス :	Bridge に割り当てる IP アドレス Ether-0 及び 1 をネットワークの上流・下流に接続します。
共通	
Ether-2 IP アドレス :	同上 (※多ポートモデルのみ)
Ether-3 IP アドレス :	同上 (※多ポートモデルのみ)

■ ルーティング

基本 ルーティング

静的ルーティングが必要な場合は、ここで設定を行います。

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス /

ゲートウェイ

操作

一覧

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
------------	--------	--------	----

ネットワークアドレス：	接続先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します。
ゲートウェイ：	利用するゲートウェイのアドレスを入力します。

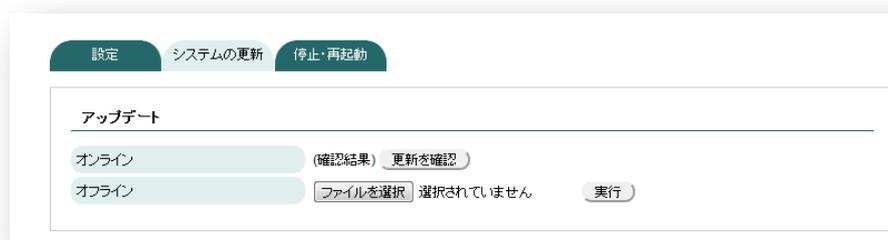
3-3. メンテナンス

■ 設定



設定情報エクスポート：	EasyBlocks 全体の設定をエクスポートします。
設定情報インポート：	EasyBlocks 全体の設定をインポートします。
リカバリ用 USB メモリの作成：	リカバリ用の USB メモリを作成します。 ボリュームラベル「EB_CONFIG」を指定し、VFAT でフォーマットを行った後、設定情報を書き込みます。 添付の USB メモリをご利用下さい。

■ システムの更新



オンライン：	「更新を確認」で最新バージョンの有無を確認し、アップデートがある場合は、更新ボタンが表示されます。
オフライン：	WEB サイトからダウンロードした、アップデートデータを使用して更新を実行します。

■ 停止・再起動



停止：	停止します。
再起動：	再起動します。

3-4. Proxy サービスの設定

利用開始にあたっては、最初に i-FILTER のアクティベート操作が必要です

■ プロセス

The screenshot shows a web interface for proxy service configuration. It is divided into two main sections: 'プロセス操作 (2)' (Process Operation) and 'キャッシュ操作 (2)' (Cache Operation). Under 'プロセス操作', there are two rows. The first row has a label '設定のリロード' (Reload Settings) and a button '設定のリロード'. The second row has a label '再起動' (Restart) and a button '再起動'. Under 'キャッシュ操作', there are two rows. The first row has a label 'コンテンツ キャッシュ' (Content Cache) and a button 'クリア', with a note below it: '※ Proxyプロセスの再起動が行われるため、接続中のクライアントは切断されます' (Note: Since the Proxy process will be restarted, connected clients will be disconnected). The second row has a label '判定結果 キャッシュ' (Decision Result Cache) and a button 'クリア'.

◆ プロセス操作

設定のリロード :	稼働中のプログラムを停止すること無く、設定のリロードを行います。
再起動 :	稼働中の Proxy を停止し再起動を行います。 キャッシュ・ログ領域の RAM ディスクを再確保しますので、記録されていたキャッシュ・ログは初期化されます。

◆ キャッシュ操作

コンテンツキャッシュ :	コンテンツキャッシュのクリアを実行します。 プロセスの再起動が発生するため、接続中のクライアントは切断されます。
判定結果キャッシュ :	判定結果キャッシュのクリアを実行します。

■ 基本

基本設定

ポート番号

管理者メールアドレス

FTP用パスワード

キャッシュ (2) 有効 無効

キャッシュメモリサイズ (2) MB

最大オブジェクトサイズ (2) KB

最大オブジェクトサイズ(メモリ) (2) KB

IPv4 接続優先 (2) IPv4 IPv6

接続元 IP の通知 (2) 通知する 通知しない

ログ

ファシリティ (アクセスログ)

ファシリティ (フィルタリングログ)

転送 有効 無効

本体内ログ (2) 残す 残さない

SNMP (2) 有効 無効

上位プロキシ

上位転送 有効 無効

アクセス制御

IP フィルタ (2)

Proxyを介さないネットワーク 指定 なし

Proxy アクセス制御方式 (2)

操作

*アクセス制御における接続元ネットワークの指定

IP フィルタ等、接続元ネットワークを指定する項目については、次の4つから選択することができます。

どこからでも可	接続元ネットワークを制限しません。
ローカルネットワーク	EasyBlocks に直接接続するネットワークからのアクセスに制限されます。
プライベートネットワーク	10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16 のプライベートネットワークからのアクセスに制限されます。
ネットワークを指定	任意のネットワークを設定することができます。

◆基本設定

ポート番号 :	Proxy として接続を待ち受けるポート番号です。
管理者メールアドレス :	エラー時などに画面表示する管理者の連絡先です。
FTP パスワード :	匿名 FTP サーバーへの接続時に使用するパスワード 管理者のメールアドレス等を指定します。
キャッシュ :	「有効」の場合、参照した WEB サイトについてキャッシュが許可されているコンテンツを本装置内のキャッシュ領域に保持します。 「無効」の場合、代理アクセスを実施するのみで、キャッシュは保持しません。
キャッシュメモリサイズ :	メモリにキャッシュの容量を整数値で指定します。単位は MB です。 squid.conf の cache_mem に設定される値です。
最大オブジェクトサイズ :	キャッシュディスクに保存される最大ファイルサイズを整数値で指定します。単位は MB です。squid.conf の maximum_object_size に設定される値です。
最大オブジェクトサイズ (メモリ) :	キャッシュメモリに保持される最大ファイルサイズを整数値で指定します。単位は KB です。squid.conf の maximum_object_size_in_memory に設定される値です。
IPv4 接続優先 :	IPv6 接続が可能な場合において、IPv4/IPv6 のどちらを優先するか選択します。(※RA (Router Advertisement) により IPv6 アドレスが割り振られた場合のみ)
接続元 IP の通知 :	接続先に対し、接続元の IP アドレスを通知するか否かを選択します。

◆ログ転送

ファシリティ (アクセスログ) :	ログを保存するファシリティ LOCAL0~7
ファシリティ (フィルタログ) :	ログを保存するファシリティ LOCAL0~7
Syslog サーバー :	転送先の IP アドレスまたはホスト名 (転送する場合のみ)
SNMP :	Proxy(squid)の SNMP 機能を有効とするか否かを選択します。Proxy の稼働状況を SNMP で取得したい場合に「有効」を選択します。
SNMP のポート番号 :	SNMP に用いるポート番号を指定します。
SNMP のコミュニティ名 :	SNMP のコミュニティ名を指定します。
SNMP の接続制限 :	SNMP により情報を取得できる接続元ネットワークを制限します。

◆上位プロキシ (必要な場合のみ)

IP アドレス :	上位プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名
ポート番号 :	// のポート番号
ICP ポート番号 :	必要な場合に指定する。使用しない場合は 0 を入力します。

※ 複数指定した場合は、上から順に接続を試みることで冗長構成となります。

◆アクセス制御

IP フィルタ :	IP tables により Proxy を利用するクライアントの接続元ネットワークを L3 レイヤーで制限します。
Proxy を介さないネットワーク :	Proxy を介さない (キャッシュしない) ネットワークを指定します。
アクセス制御方式 :	接続元ネットワークによる制限の他、「認証ユーザー」による制御が可能です。 認証ユーザーは、Proxy 型設置の場合にのみ利用可能となり、別途認証ユーザーの登録が必要です。

■ フィルタ定義

◆ 定義 No の選択

編集対象：	0～9 までの数字を選択
選択中の定義 No 及び定義名：	前項で選択中の数字を表示 テキストフィールドには任意の名称を設定可能 ホワイトリスト → ブラックリスト → i-FILTER(ARS サーバー参照)の順に評価されます。

◆ ホワイトリスト/ブラックリスト

ホワイトリスト：	1行1ルールずつ、正規表現によるルールを定義出来ます。 例) (foo bar).com や (.jpg png ico css js) 等 ホスト名やパス名にマッチした場合、ブラックリストやカテゴリによる判定を通らずに許可されます。
ブラックリスト：	定義方法はホワイトリストと同じです。 ホスト名やパス名にマッチした場合、カテゴリによる判定を通らずに許可されます。

◆ i-FILTER(ARS サーバー参照)によるフィルタリング対象の設定

[カテゴリ分類]：	禁止にしたいカテゴリ名にチェックを入れます
-----------	-----------------------

■ 重要 定義 No.0 は、デフォルトのルールとして利用されます。後述のグループ定義が未設定の場合や、ネットワークグループを作成した場合の定義ネットワークに該当しないクライアントに対して適用されます。フィルタログには、rule0 のように使用した定義が表示されますので、動作確認の参考にしてください。

■ グループ - ネットワークグループ

ネットワークグループ | [認証グループ](#) | [ユーザー登録](#) | [ユーザー登録\(CSV\)](#) |

ネットワークアドレス / (2)

適用フィルタ定義 ▼

操作

一覧

[ネットワークアドレス](#) [ネットマスク](#) [適用フィルタ定義](#) [操作](#)

ネットワークアドレス :	対象のネットワークアドレス、ネットマスクを入力
適用フィルタ定義 :	当該グループに適用したいフィルタ定義 No を選択 定義名を設定している場合は、それが表示されます

■ グループ - 認証グループ

ネットワークグループ | [認証グループ](#) | [ユーザー登録](#) | [ユーザー登録\(CSV\)](#) |

注意 認証グループ利用時は、基本タブの「許可するProxyクライアント」を「認証ユーザー」に設定する必要があります。

名前

適用フィルタ定義 ▼

操作

一覧

[グループ名](#) [適用フィルタ定義](#) [操作](#)

名前 :	グループの名前を入力
適用フィルタ定義 :	当該グループに適用したいフィルタ定義 No を選択 定義名を設定している場合は、それが表示されます

■ グループ - ユーザー登録

ネットワークグループ | 認証グループ | ユーザー登録 | ユーザー登録(CSV)

注意 認証グループ利用時は、基本タブの「許可するProxyクライアント」を「認証ユーザー」に設定する必要があります。

グループ (選択してください)

名前

パスワード

有効 はい いいえ

操作

(保存) (クリア)

一覧			
有効無効	名前	グループ	操作

グループ :	作成したグループから適用したいものを選択
名前 :	ログイン名を入力
パスワード :	パスワードを入力 (本体内では暗号化したものを保持します)
有効 :	一時的に無効にしたい場合は いいえ を選択

■ グループ - ユーザー登録(CSV)

ネットワークグループ | 認証グループ | ユーザー登録 | ユーザー登録(CSV)

注意 CSVは「,」の1マ行区切りを想定しています。登録により既存登録は削除され、再登録となります。登録に際しては、予め必要なグループの定義を行っておく必要があります。

取得 (実行)

登録 (ファイルを選択) (選択されていません) (実行)

取得 :	登録済みのユーザー情報を CSV で取得します
登録 :	登録したいユーザー情報を CSV で送信します

CSV のフォーマットについて

フィールド :	on, group, name, password, plain-passwd の 5 列
on :	TRUE / FALSE
group :	認証グループの名称
password :	暗号化済みのパスワード文字列 登録時に空にしておくと、plain-password の値を設定する
plain-password :	平文パスワード (登録時に必要に応じて記入する)

■ ブロック表示

ブロック表示

ブロック時に表示するメッセージ
※ HTMLタグは使用できません

表示しようとしたWEBサイトは、アクセスが制限されています。
規制に関する問い合わせは、管理者までご連絡ください。

操作

◆ ブロック表示

ブロック時に表示する メッセージ：	ブロック時に表示するメッセージを自由に入力できます ※HTML タグは利用できません
----------------------	---

■ POST 規制

POST規制

注意 POST/PUTの最大サイズは、小さくすぎると通常のWEBアクセスにも支障が出る場合があります。ご利用の環境に合わせて適宜調整してください。

POST/PUTの最大サイズ KB ※ 0 は制限なし

操作

◆ POST 規制

POST/PUT の最大サイズ：	サイズ(KB)を指定して、指定サイズよりも大きな POST/PUT のアクセスを禁止します。 ファイルのアップロード等を禁止することができます。 ※ サイズを小さくしすぎると通常の WEB アクセスにも支障が出る場合があります。数 KB 程度から初めて、環境に合わせて調整してください。
------------------	---

■ ログ表示



◆ 表示

選択 :	表示可能なログファイルをプルダウンで選択します
自動更新 :	一定間隔で表示内容の更新を行います
停止 :	自動更新を停止します
再ロード :	表示中のログを再表示します
ダウンロード :	表示中のログをダウンロードします

■ PAC (Proxy auto-config)



◆ 表示

PAC URL :	自動設定スクリプトを配信するための URL DHCP サーバーやブラウザに指定する URL として利用出来ます。
PAC スクリプト :	スクリプトを直接記述します <pre>function FindProxyForURL(url, host) { var proxy = 'PROXY proxy.example.jp:8080'; ~ 省略 ~ return proxy; }</pre>

■ アクティベート

アクティベート

シリアルID

設置場所都道府県

利用者 法人名

ハードウェアNo

操作

◆ アクティベート

シリアル ID :	添付のライセンス証書に記載のシリアルナンバーを入力してください
設置場所都道府県 :	都道府県を選択してください
利用法人名 :	利用者の法人名を入力してください
ハードウェア No :	製品側面に貼付された SERIAL No を入力してください

※ アクティベートは、デジタルアーツ社サーバーと **HTTPS** 通信を行います

2014年12月

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F